

ISBN978-4-07-299973-8
C0095 ¥1400E (0)



9784072999738



1920095014005

定価: 本体1400円

※消費税が別に加算されます
主婦の友社

田舎の無名高校から
東大、京大にバンバン合格した話

田舎の無名高校から 東大、京大に バンバン合格した話

「受験は団体戦だ！」

0時間目、夏休み3日のみ、泊まり込み合宿……

奈良の西大和学園が東大・京大トップ進学校を

目指した“体育会系”受験ストーリー。

西大和学園の奇跡

西大和学園会長
田野瀬良太郎

西大和学園の奇跡

田野瀬良太郎

西大和学園会長

京大全国第2位!!

(82名)

東大・京大全国第3位!!

(111名)

平成25年度 高校別合格者数ランキング

主婦の友社

- 1 荒削りな若手教師とやんちゃな生徒たち
- 2 海外放浪から政治家へ
- 3 熱血教師たちの受験戦争
- 4 東大、京大合格者トップ10への道
- 5 西大和学園の現在と未来



田舎の無名高校から
東大、京大にバンバン合格した話

田舎の無名高校から 東大、京大に バンバン合格した話

西大和学園の奇跡

田野瀬良太郎

西大和学園会長

はじめに

「開校当初は田舎の無名校。大半が公立高校の教員採用試験に落ちた教師と、公立高校の受験に失敗した生徒たち。平凡なすべり止め高校だったんですよ」

私が思い出話をすると、たいがいの方は目を丸くします。

「西大和って、進学校のあの西大和学園ですか？」

「きつと大げさに言っているんでしょう？ だって、あの西大和がそんな」

にわかには信じていただけません。こうした方々の言う「あの西大和」の「あの」とは、現在の西大和学園中学校・高等学校に対する評価、特に大学への進学実績や中学・高校入試の偏差値を、おそらく指しているのでしょう。

東大、京大以外にも優秀な難関大学はたくさんありますが両大学の合格者数を、ひとつのバロメーターとして使わせて頂くのであれば2013年の関西圏におけるランキングは、次の通りでした。

〈2013年 東京大学・京都大学合格者数（現浪総合・西日本）〉

1位	灘（兵庫・創立86年）	146名
2位	西大和学園（奈良・同28年）	111名
3位	洛南（京都・同52年）	105名
4位	東大寺学園（奈良・同88年）	94名
5位	大阪星光（大阪・同64年）	71名
6位	北野（大阪・同141年）	68名
6位	大阪桐蔭（大阪・同25年）	68名
8位	洛星（京都・同62年）	64名
9位	甲陽学院（兵庫・同96年）	62名
10位	天王寺（大阪・同117年）	58名

（進学情報誌、週刊誌等をもとに西大和学園が独自に作成）

はじめに

全国ランキングでは1位に開成（東京・創立142年）、2位に灘（兵庫・同86年）が入ってきて、西大和学園は全国3位。他の超名門校には全国的な知名度こそまだ及

びませんが、ここ10年は全国トップ5を争う位置をキープしています。

さて、ここで奈良県の教育事情、進学事情について少しご説明しておきましょう。

文部科学省の行う学習状況調査では、小中学生が学習塾に通う割合についても統計を取っていますが、奈良県は長年にわたり全国トップレベルの通塾率となっています。また、2014年の入試結果に関しては、各都道府県の高校の卒業生数に占める東大・京大の現役合格者数の割合において、奈良県が1位というデータが教育関連のニュースを賑わせるなど、その高い進学実績でも注目されています。こうした数々のデータから、奈良県は全国の都道府県のなかでも特に「教育熱心な県」というイメージが定着しています。

奈良県は全県1学区制入試、つまり住んでいる地域にかかわらず、県内の公立高校ならどこでも受験できる制度を実施しています。

成績優秀な生徒は奈良、畝傍うねび、郡山こおりやまといった県立の進学校を受験するか、西大和学園、東大寺学園を筆頭に、奈良学園、帝塚山てづかやま、智弁学園など奈良県内にある中高一貫の私立進学校を選ぶ。さらに関西圏には、大阪に大阪星光、京都に洛南、洛星、兵庫

に灘、甲陽学院と超難関を含め私立進学校がひしめいている通学圏という事情もあって、奈良県は中学受験、高校受験への関心度は実は昔からひじょうに高かったのです。

先ほどのランキングでも分かるように、関西圏で進学校と呼ばれているほとんどの学校は創立50年、なかには100年を超える名門校も少なくありません。

そのなかで、西大和学園はとてもし「若い学校」です。

おかげさまで、関西圏では、すでに進学校としてある程度、認知していただけるようになりました。ですが、全国での知名度はまだありません。東京で仕事をしていると、「灘や東大寺は知っているけど、西大和なんて聞いたことないです」という方ばかり。現に、この本の担当編集者さんも、私に会うまでは西大和学園のことを知らなかったそうです。

まだまだ全国区に知名度がない理由、それは、西大和学園の成長があまりにも急速であったためだと思います。

この急成長ぶりは「異例中の異例」とも「奇跡」とも言われ、なかには「表には出せない。マジック」でも使ったのだろう」といぶかる声も上がったほどです。いわく「進学塾から優秀な生徒を強引な方法で迎え入れたのではないか」

「名門進学学校から、受験のスペシャリストのような教員を引き抜いたのではないかとともにそんな知恵はありませんでした。」

なかには、こんな残念な噂もありました。

「田野瀬は政治家だから、一般の庶民には知りえない。奥の手」を使って、数字の操作をしたのだろう」

たしかに、開校当時は奈良県の県議会議員という肩書を持ち、1993年に初当選してからは衆議院議員として国政に長く携わってきました。でも、学校経営者と政治家という立場はつねに切り離して考えていましたし、むしろ「政治家だから何がしかの恩恵にあずかっている」といった誤解を与えないよう、神経質なまでに線引きをしていました。

公立中堅校のすべり止めからスタートした西大和学園が、なぜここまで右肩上がり

で進学実績を伸ばしていったのか？

そこに「奇跡」や「マジック」は果たしてあったのか？

その答えをみなさんに見つけていただくべく、時計の針を開校初年度の1986年まで巻き戻してみたいと思います。

2015年1月

西大和学園会長

田野瀬良太郎



田野瀬良太郎

TANOSE RYOTARO

昭和18年10月31日生まれ。奈良県五條市出身。名古屋工業大学卒。大学時代に1年間アルバイトをしながら、ロシアからヨーロッパ、中近東、東南アジアなど33か国を歴訪。これを機に政治の道を志し、昭和48年五條市議会議員初当選。その後、奈良県議会議員、衆議院議員に当選し、自治政務次官、財務副大臣、自民党文部科学部会長、自民党三役・総務会長(第48代)を務める。議員活動

主婦の友社

読者ネットアンケートクラブ

に参加しませんか？

- あなたの声を新しい本の企画に反映するためのアンケートを送らせていただきます。
- 登録は簡単(無料)です。
- 図書カードや新刊書籍のプレゼント、お得な情報、さらにネットポイントなどの特典あり！

詳細&お申し込みは……> <http://club.bukure.jp>

STAFF

企画／米田建三(公益社団法人 国際経済交流協会)

構成／三次敏之 取材／藤村幸代 撮影／眞野敦

装丁／永井亜矢子(坂川事務所)

カバーイラスト／北原明日香

本文デザイン／川名美絵子(主婦の友社)

校正／阿部一恵(阿部編集事務所)

取材協力／毎日新聞、SAPIX

編集担当／加藤文隆(主婦の友社)

田舎の無名高校から 東大、京大にバンバン合格した話

2015年2月20日 第1刷発行

2015年3月20日 第2刷発行

著者／田野瀬良太郎

発行者／荻野善之

発行所／株式会社主婦の友社

〒101-8911

東京都千代田区神田駿河台2-9

電話(編集) 03-5280-7537

(販売) 03-5280-7551

印刷所／大日本印刷株式会社

© Ryotaro Tanose 2015 Printed in Japan ISBN978-4-07-299973-8

回(日本複製権センター委託出版物)

本書を無断で複写複製(電子化を含む)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書をコピーされる場合は、事前に公益社団法人日本複製権センター(JRRC)の許諾を受けてください。

また本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

JRRC(<http://www.jrcc.or.jp> eメール: jrcc_info@jrcc.or.jp 電話:03-3401-2382)

※乱丁本、落丁本はおとりかえします。お買い求めの書店か、

主婦の友社資料刊行課(電話03-5280-7590)にご連絡ください。

※内容に関するお問い合わせは、主婦の友社(電話03-5280-7537)まで。

※主婦の友社発行の書籍・ムックのご注文、雑誌の定期購読のお申し込みは、

お近くの書店か主婦の友社コールセンター(電話0120-916-892)まで。

*お問い合わせ受付時間 月～金(祝日を除く) 9:30～17:30

※主婦の友社ホームページ <http://www.shufunotomo.co.jp/>

目次



はじめに……2

第1章

荒削りな若手教師とやんちゃな生徒たち

15

窓ガラスのない教室で／日本一の学校を目指して／どこにでもある「中堅クラス」の私立高校／放課後の大混乱／全人教育か？ スポーツ強豪校か？／どこだって本当は進学校にしたいんですよ／賛成派だった二人からのスタート／エリートになり切れなかった教師たちの本音／進学校推進派VS改革否定派／出過ぎた杭は打たれない／授業の一変に戸惑う生徒たち／スピードチェンジ授業／生徒は熱い教師についていく／教師はお山の大将／ところで君、お酒は飲めますか？／12人の新卒教師とともに／入学前に三者面談を実施／週末に夢を語り合う

第2章

海外放浪から政治家へ

67

1年間の海外放浪の旅に出発／社会主義国家の現実を知る／世界中の人々が日本に注目していた／タイで政治家を志す／市議員になる／議員浪人としての8年間／食い詰めた浪人時代／保育園をつくる／学校をつくりたいという夢が広がる／資金ゼロからの学園づくり／最大の難関、土地探し／プレハブ小屋での生徒集め／収まりきらない受験生の長い列

第3章

熱血教師たちの受験戦争

99

学校の混乱は続く／体育系クラブの躍進／体育教師たちの抵抗／明け方まで続いた体育教師との話し合い／突然の部活動規制令／スポーツオタク、勉強オタクになるな／関大20人合格が最初の目標／恐れずどんなことでもやってみる／トップ進学校はチャイムの音が違う／自習室の失敗／クローラーのない教室と生徒の逆襲／泊まり合宿で絆を深める／隣の担当がライバル／学年責任制度の採用／先生は営業マンでもある／保護者の願いを全部かなえた学校／なぜ学校には校長・教頭・先生しかいないのか

第4章

東大・京大合格者トップ10から頂上へ

145

原石を発掘する／先生の手で生徒が変わったエピソード／自分自身が登校拒否だった福井先生／東大合格者第1号誕生！／国立実績を上げる／6期生（中学1期生）の快挙／受験失敗ショックも行事で払拭／海外研修旅行／世界へ飛び出す西大和学園6期生／生え抜き校長は34歳／難校の高すぎる壁／全国ランキングトップ10入り／「受験勉強だけじゃなく、いろんなことを学びたい」という子が出てきた

第5章

西大和学園の現在と未来

189

生徒を劇的に変えたスーパーサイエンスハイスクール／さらに多様化した英語教育／京大ならどこでもいいという生徒はもういない／70項目の改革案／iPad導入という新改革／現場は「東大に受からせたい」では動かない／アメリカ西海岸の姉妹校、女子短大の開学／夢の4年制大学が開学／熱血教師たちの今／次世代のリーダーたちへ

第1章

荒削りな若手教師と やんちゃな生徒たち

